NIE実践報告

1．タイトル：**新聞を読んで、投書しよう！**

2．学校名

福岡県福岡市立東光中学校

3．実践者名（代表者名）

東方広海

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会　80人（2クラス）

6．単元（本時の学習課題）名

新聞を読んで、投書しよう！！

7．目標(狙い)

新聞を読むことによって、現代社会の諸問題に関心を持ち、多角的に考察して、投書することができる。

8．評価の視点

・新聞を読むことによって、現代社会の諸問題に関心を持つことができたか。
・社会的事象を多角的に考察して、投書することができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

この学習では、単元レベルではなく公民的分野全体を通して、学習したこと（政治的分野および経済的分野）を土台に、投書する学習となっている。（時数6）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

事前：毎朝、教科連絡係が職員室から教室へ新聞を持って上がる。生徒は、新聞を読みながら、週末の投書に書く内容の情報を収集する。
①各紙の投書欄のコピーを配布する。（学校から掲載者が出た場合は、その生徒の投書を別紙で配布する）
②投書に書く内容のネタ帳をもとに、原稿用紙に下書きをする。（この時、過去の新聞を確認してもよい）
③下書きを友達3人以上見てもらい、意見を聞き、推敲する。
④推敲した下書きを教科担任に提出し、チェックを受ける。（チェックは誤字・脱字程度を見るようにし、内容には変更しないようにする）
⑤清書をして、教科担任に提出する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

自分の文書が新聞に載る可能性があるということだけで、積極的に学習に取り組んでいた。

12．成果と課題

（成果）
実際にクラスメイトや自分自身が新聞に載ることで、意見や主張が広く伝わることが体験でき、積極的に学習に取り組むようになった。また、現代社会の諸問題に関心を持つ生徒が増えた。
（課題）
1クラス40人いるので、チェックする作業が煩雑になってしまい、細かな指導が行き届かなかった。